

いれあい

2023

9

No.438

牛久愛和総合病院 広報誌



スキルも物資も鋭意拡充中

泌尿器科 医長 傑 聰



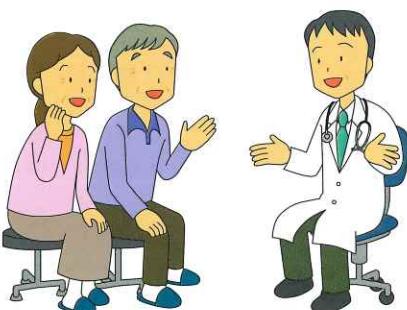
当院の泌尿器科は東京慈恵会医科大学泌尿器科前主任教授、穂川晋先生が発足され、現まで常勤と非常勤体制を経て、現在は僕一名の常勤体制です。当院泌尿器科は様々な物資を鋭意拡充中です。

当院へ赴任してから考え続けているのは当地域医療に貢献するためどんな診療を行うかです。一名体制で救急診療、一般外来、病棟管理、手術をすべて行うのは至難の業と考えており、その診療に制限をおいて行わざるを得ないのが現状です。悪性腫瘍の診療については、その疾患の特徴や患者様の状態に合わせて近隣の病院様へ円滑にご紹介することを第一としていま

る相談は今後増加すると思われます。排尿については泌尿器科医だけの診療では到底改善しません。中でも多いのは下部尿路症状、前立腺肥大症です。60歳以上であれば5割、70歳以上であれば6割以上の方が何らかの排尿に関する症状を持つていてるといわれています。当院ではこれらに対し、薬物治療、手術治療を行っています。前立腺肥大症への手術治療は経尿道的内視鏡手術が一般的です。手術時間、入院期間をなるべく短くし、術後の生活も不安のないよう外来日程を調整しております。

また、入院中の排尿トラブルにも力を入れています。泌尿器科とは全く関係ない疾患でご入院されている最中に尿が出なくなったり、やたら頻尿になつたというときに「尿閉」いう状態が考えられ、この状態の改善にむけて診療をサポートしています。高齢社会となつた現在では排尿に関する

す。良性疾患の中で、私でお役立ちできるものの幅を広げていけるよう努力しております。中でも多いのは下部尿路症状、前立腺肥大症です。60歳以上であれば5割、70歳以上であれば6割以上の方が何らかの排尿に関する症状を持つていてるといわれています。当院ではこれらに対し、薬物治療、手術治療を行っています。前立腺肥大症への手術治療は経尿道的内視鏡手術が一般的です。手術時間、入院期間をなるべく短くし、術後の生活も不安のないよう外来日程を調整しております。また、入院中の排尿トラブルにも力を入れています。泌尿器科とは全く関係ない疾患でご入院されている最中に尿が出なくなったり、やたら頻尿になつたというときに「尿閉」いう状態が考えられ、この状態の改善にむけて診療をサポートしています。高齢社会となつた現在では排尿に関する





腰部脊柱管狭窄症のお話

整形外科 部長 谷口 浩人



皆様、こんにちは。牛久愛和総合病院整形外科の谷口と申します。

今回は、腰部脊柱管狭窄症（ようぶせきちゅうかんきょう）という、怪我もしていらないのに脚の痛みをきたす経年性変化（変性疾患）に関するお話をさせていただきます。

高齢者医療の話ではあります、50歳以降についての話題ですでの、中高年といったほうが良いかもしれません。平均寿命が、戦後すぐの頃には50歳前後であつたのが、現在では男女とも80歳以上となり、50歳以前ではあまりみられない足腰の痛みを引き起こすこのような変性疾患が、近年問題となつてきています。

腰部脊柱管狭窄症について、最近ではすこしづつ認知されてきている病名ですが、名前が煩雑で、時に「狭窄症」以

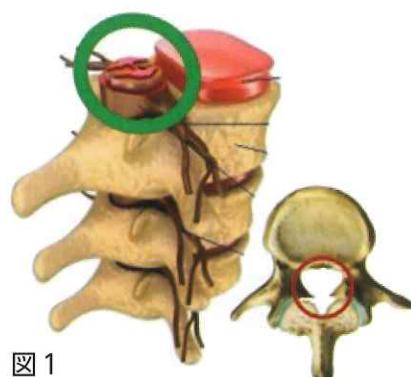


図1

外に「すべり症」「椎間板ヘルニア」「靭帯骨化症」などと聞くこともあります。それらがまったく違う病気なのか？と思われがちですが、それらは腰が原因で脚への症状が出ているものなのです。例えば、感冒（風邪）で、咽頭炎、気管支炎といった病態（腰でいう狭窄症やすべり症など）がみられ、鼻汁や咳などの症状（腰で言う坐骨神経痛）を伴う、ということになるでしょう。

脊柱管とは、背骨の柱である「椎体」の後ろの神経が通る骨に囲まれたトンネル部分を指し（図1）、加齢や、特定の部分に慢性的な負荷がかかることで、背骨を繋いでいる関節が摩耗して、椎間板の突出や、骨を支えている靭帯、

筋肉、筋膜などが肥厚することにより生じる狭窄症が発生するのです。この狭窄によって、神経が圧迫されると、腰痛や下肢痛、しびれなどの症状が現れることがあります。また時に、感染症や癌の転移原因などもあるので、疑わしい場合には病院で検査が必要です。



図2 正常の腰椎

脊柱管狭窄症

次回機会では、膝の治療についてのお話しができれば、と思います。

初心と変わらずに、地域の皆様への貢献を使命として、医療に邁進していきます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

入職者

■看護助手
7月27日付

■看護助手
7月27日付

■看護助手
7月27日付

ファム テイ ヒエン

私はユーモアな人です。キャリア成長の仕事をしたいです。同僚と助け合います。

グエン テイ レー

私は朗らかな人です。安定して長く働ける仕事をしたいです。



春秋園だより



(春秋園リハビリスタッフ一同)

春秋園では、約十種類の車椅子を運用しています。その人らしい生活を考えていく上で、利用者様それぞれに合った車椅子を選ぶ必要があります。

車椅子には、大きく分けて普通型、多機能型、リクライニング型、介助型があります。座面の高さは三種類あり、座幅が広め・狭めの車椅子、足を置く台が着脱できる車椅子等細かな種類があります。

春秋園では、約十種類の車椅子を運用しています。その人らしい生活を考えていく上で、利用者様それぞれに合った車椅子を選ぶ必要があります。

あります。



車椅子は経年劣化もします。特にタイヤやブレーキです。車椅子の日常の使い方や、タイヤそのものの性能によっても耐用年数が異なります。

車椅子を選ぶ基準は、利用者様の体型、足を用いて自走するか、主に手で自走するか、介助されて移動するか、移乗方法、介助量、座つて食事をとれるか、などを考えます。

春秋園では、リハスタッフと介護スタッフと協力して、毎月点検・整備を行っております。今後も引き続き、利用者様が車椅子を安全にご利用いただけるように、取り組んでまいります。

春秋園では、リハスタッフと一緒に時間を費やしているので全くやつていませんが、中学からずっとバドミントン部は気軽な感じで、先輩も少ない弱小クラブでした。入部した同級生にも恵まれたのと、好きこそもの上手なれ

ます。

車椅子は経年劣化もします。特にタイヤやブレーキです。車椅子の日常の使い方や、タイヤそのものの性能によつても耐用年数が異なります。

車椅子を選ぶ基準は、利用者様の体型、足を用いて自走するか、主に手で自走するか、介助されて移動するか、移乗方法、介助量、座つて食事をとれるか、などを考えます。

春秋園では、リハスタッフと一緒に時間を費やしているので全くやつていませんが、中学からずっとバドミントン部は気軽な感じで、先輩も少ない弱小クラブでした。入部した同級生にも恵まれたのと、好きこそもの上手なれ

ます。

車椅子は経年劣化もします。特にタイヤやブレーキです。車椅子の日常の使い方や、タイヤそのものの性能によつても耐用年数が異なります。

車椅子を選ぶ基準は、利用者様の体型、足を用いて自走するか、主に手で自走するか、介助されて移動するか、移乗方法、介助量、座つて食事をとれるか、などを考えます。

春秋園では、リハスタッフと一緒に時間を費やしているので全くやつていませんが、中学からずっとバドミントン部は気軽な感じで、先輩も少ない弱小クラブでした。入部した同級生にも恵まれたのと、好きこそもの上手なれ

ます。

車椅子は経年劣化もします。特にタイヤやブレーキです。車椅子の日常の使い方や、タイヤそのものの性能によつても耐用年数が異なります。

車椅子を選ぶ基準は、利用者様の体型、足を用いて自走するか、主に手で自走するか、介助されて移動するか、移乗方法、介助量、座つて食事をとれるか、などを考えます。

春秋園では、リハスタッフと一緒に時間を費やしているので全くやつていませんが、中学からずっとバドミントン部は気軽な感じで、先輩も少ない弱小クラブでした。入部した同級生にも恵まれたのと、好きこそもの上手なれ



外来・訪問 心臓リハビリテーションの紹介

当院では、心疾患で入院された患者様に対して、入院中の体力・筋力の低下予防、早期社会復帰を目的とした「心臓リハビリテーション」を実施しています。退院された後も、心疾患の再発予防をする上で「適度な運動」をすることは重要な要素の一つです。

退院後は「外来リハ」でスタッフとともに運動を継続することが出来ます。通院が困難な方には、介護保険サービスである「訪問リハ」でご家庭に訪問し、自宅で出来る運動をご指導させて頂くことも可能です。再発を予防し、活動的な生活を継続するため是非ご活用ください。



編集だより

「中秋の名月」とも呼ばれる十五夜ですが、今年は九月二十九日だそうです。月見団子、イモ類、ススキ、秋の七草などお供えして、名月を鑑賞してみてはいかがでしょうか。

(E・N)

病院理念

我々は医療全般は基より、3つの柱「救急医療」「予防医療」「高齢者医療」を通じて地域住民の皆様に最高の医療・福祉を提供すると共に、職員一同自己研鑽に励みます。

病院概要

病床数 489 床 (一般 391 床 医療療養型 55 床
地域包括ケア 43 床)

施設

敷地 59,449.60m² 駐車場 1151台



日本医療機能評価機構認定病院
医療法人社団 常仁会

救急 24 時間

牛久愛和総合病院

〒300-1296 茨城県牛久市猪子町896番地
Tel 029-873-3111 Fax 029-874-1031
ホームページ <http://www.jojinkai.com>

関連施設

総合健診センター	Tel 029-873-4334
健康増進施設 スポーツリラックス	Tel 029-874-8791
人工透析センター	
読影センター	
地域リハ・ステーション	
介護老人保健施設 春秋園	Tel 029-870-3100
ひたち野ステーションクリニック	Tel 029-896-6200
特別養護老人ホーム グランヴィラ牛久	Tel 029-817-5111

診療科目

【一般外来】

内科、消化器内科、循環器内科、心臓血管外科、血液内科、腎臓内科、脳神経内科、呼吸器内科、糖尿病・代謝内科、リウマチ・膠原病内科、小児科、眼科、泌尿器科、皮膚科、整形外科、脳神経外科、形成外科、救急科、外科、乳腺外科、消化器外科、耳鼻咽喉科、産婦人科、歯科口腔外科、甲状腺・内分泌外科

【専門外来】

内 科 (禁煙外来)
整形外科 (股関節、脊椎、スポーツ、肩関節、膝関節)
小 児 科 (小児循環器、小児心理、小児免疫)
皮 膚 科 (レーザー外来)
外 科 (下肢静脈瘤外来)
ストーマ外来
そけいヘルニア専門外来
透析外来
内視鏡検査
検診検査 (乳がん検診)

